

## ガス内管及びガス栓工事申込書提出時の必要書類（ガスオーダー） R6(2024).4

- 1) ガス内管及びガス栓工事申込書、調査票 A3様式  
（“簡易申請”を行った物件は備考欄に「簡易申請済」と「受付番号」を明記すること）  
（道路掘削申請等を別途に行った物件は備考欄に「掘削先送り」と明記すること）
  - 2) 設計図 A3様式
  - 3) ガス管理図 A4様式（申請場所を明示の事、造成地においては区画割を記入し、申請場所を明示のこと）
  - 4) 住宅地図 A4様式 2部 申請場所を明示の事 尚、内1部の裏面には使用料金請求先の印を押し、請求先をチェックし、必要事項があれば記入すること
  - 5) チェックシート A4様式
  - 6) 圧力損失計算・メーター号数計算書 A4様式
  - 7) 別途計算書 A4様式  
※ガス装置工事単価表に記載がない場合
  - 8) 利害関係書類〔土地使用承諾書、分岐承諾書〕 A5様式  
※工事申込者以外の方が所有する土地や管を利用する場合
  - 9) 道路占用許可申請書類 A4様式（掘削がある場合）
    - a 工事箇所掘削図 (R1・R161号線-5部、県道・R422・R477号線-7部、市道-6部、法定外-6部、私道-3部)
    - b 位置図 (掘削する箇所(道路部分)を明示) //
    - c 保安図 //
  - 10) 河川占用許可申請書類 A4様式（一級河川の河川区域、保全区域、又は普通河川の河川区域に供給管等を布設する場合）
  - 11) 既施設のマイクロ A4様式（マイクロが無い場合、オーダーの備考欄にマイクロ無しと記入（引込管台帳等供給管の埋設状況がわかる資料も出来る限り添付）
  - 12) 本支管および供給管の竣工図 A4様式（掘削がある場合に添付し、掘削箇所を竣工図に明示すること  
また、その付近の断面図があれば、併せて添付すること）
  - 13) LPガス解約確認書（写しを添付すること）  
※LPガスからの切替工事の場合
- 7)～14)については、必要がある場合添付すること

受付No. \_\_\_\_\_

工事場所 \_\_\_\_\_

申込者 \_\_\_\_\_

工事店名 \_\_\_\_\_

重点確認欄は、必ず確認してください

確認欄は、必要に応じて確認してください

提出前に最終確認してください ⇒

チェック欄記入例    チェック済：に○を記入    該当するものが無い場合：に／を記入

必要事項の有無を    有    無    の何れかに○マーキング

確認欄

重点確認欄

1) ガス内管及びガス栓工事申込書、調査票

【申込書】

A-①	工事種別にマーキング		
A-②	ガス種にマーキング		
A-③	日付の記入（受注した日）		
A-④	戸数を記入(新設工事の場合は施設番号を振付ける数、改造(撤去)工事の場合は施設番号が振りついている数、取出(撤去)工事の場合は供給管の数を記入)		
A-⑤	住所コードの記入		
A-⑥	工事場所の記入		
A-⑦	申込者、所有者の住所・氏名・フリガナの記入（会社、団体等の場合は代表者名も記入のこと）		
A-⑧	申込者、所有者の電話番号の記入（記入が拒否された場合は空欄）		
A-⑨	委任者(申込者)氏名の記入（会社、団体等の場合は代表者名も記入のこと）		
A-⑩	利害関係承諾書が必要ないか		
A-⑪	完工予定日の記入(開庁日とし、標準的な処理期間(概ね2週間)及び入金・検査依頼期間を考慮する)		
A-⑫	LPG切替工事が伴う場合記入（LPガス解約確認書の写しを添付）		
A-⑬	工事店番号の記入		
A-⑭	“簡易申請”済の場合、備考欄に「簡易申請済」と「受付番号」を記入		
A-⑮	道路掘削申請等を別途に行った物件は備考欄に「掘削先送り」と明記すること		
A-⑯	業務用途の場合、その業種を備考欄に記入		
A-⑰	工事の概要等を備考欄に記入		

【調査表】

B-①	水道、下水道同時工事の有・無にマーキング、同時工事の場合業者名記入（同じ物件で、別の工事店が施工されている場合も同時工事となります。）		
B-②	掘削の有・無にマーキング		
B-③	道路種別にマーキング		
B-④	路線名の記入		
B-⑤	ガス中圧管		
B-⑥	NTT		
B-⑦	関西電力		
B-⑧	下水道		
B-⑨	その他(大阪ガス高圧管、KDD、通信ケーブル、温泉管、農業用水、送配水管など)		
B-⑩	仮復旧「自主施工」および仮復旧面積の記入		
B-⑪	本復旧 単価コード(4桁)および本復旧面積の記入(工事店等の発注の場合は自主施工と記入)		
B-⑫	取付・位置替、サブメーター、記号・型式・号数、数量の記入		
B-⑬	取外メーターの記号・型式・号数、数量の記入 (すでに取外し処理されている場合、『倉入済』と記入)		
B-⑭	布設・撤去・取出済にマーキング		
B-⑮	管種・口径・本数・延長(取出済の場合は記入不要)・本支管・口径を記入 (供給管工事がある場合は、本支管図面の添付)		
B-⑯	単価区分にマーキング 1:一般的な住宅等    3:鉄骨造建物    5:鉄筋コンクリート造り建物6F~10F 2:特殊木造建物    4:鉄筋コンクリート造り建物1F~5F    6:    "    11F以上		
B-⑰	使用材料明細書の記入 配管工事、付帯工事の記号、数量を記入(図面と明細書の内容を一致させること) 100A以上の配管、単価表に無い項目の工事は別途計算書で金額を算定すること		
B-⑱	別途計算金額の記入		

## 2) 設計図

C-①	工事場所の記入		
C-②	申請者の記入		
C-③	工事種別の記入		
C-④	施設番号の記入(ガスの施設番号がある場合、記入のこと)		
C-⑤	水栓番号の記入(水道の水栓番号がある場合、記入のこと)		
C-⑥	アパート、マンション等建物の名称がある場合、記入のこと		
C-⑦	新築・既築にマーキング		
C-⑧	図面番号の記入(供給管を本支管から分岐したポイントの図面番号)		
C-⑨	各消費機器および消費量の記入(給湯器関係はメーカー名、型式もできるだけ記入)		
C-⑩	設計図にマーキング		
C-⑪	建物区分の記入		
C-⑫	指定ガス工事店番号の記入(1種、2種にマーキング)		
C-⑬	指定ガス工事店の所在地、名称、電話番号の記入		
C-⑭	必要な資格者の記入(設計を担当する者及び現場を担当する者を記入すること)		
C-⑮	設計 作業 責任者	内管工事士の記入(第1種+活管)	
		内管溶接管理士若しくは低圧溶接資格保有者の記入(溶接工事がある場合)	
		外管責任技術者の記入(供給管工事がある場合)	
		内管工事士の記入(第1種・第2種・第3種・溶接)	
		外管責任技術者の記入(外責・外士) または外管工事士の記入	
C-⑯	方位を正確に記入 [ 原則は北を上にして図面を記入の事。縮尺等により北を上にして書けない場合は方位を変更する事。尚、北を下にしての図面は不可 ]		
C-⑰ (平面図)		向かい・隣接家屋の住所及び氏名が記入されているか	
		本支管の管種・口径が明示されているか	
		既設管・新設管が色分けされているか	
		平面図に階数が明示されているか	
		引込管遮断バルブ設置は必要か設置位置は適正か(緊急時の操作は、容易か)	
		メーターの設置位置及び取付方法は適正か(号数による配管、検針・緊急時の操作は、容易か。)	
		配管の管種・口径、経路は適正か(二重配管、ループ配管等の無いこと)	
		屋内埋設配管となっていないか、業務用途でフレキ管を使用していないか	
		台所や風呂場などが明示されているか	
		フレキ配管の場合、配管場所の明示がされているか(立面に記入でも可)	
		各階への立ち上げ、立ち下げ場所が図示されているか	
		マンションやテナントビル等規模の大きな建物の場合、工事場所が敷地や建物のどの場所、階数に該当するのかが、図示されているか	
		供給管撤去工事がある場合は、本支管から官民境界付近まで青実線と赤斜線(短線)で図示し、本支管の取出撤去の工事方法、管種・口径・延長が明示されているか	
	設置場所の状況に応じたガス機器、給排気設備が設けられているか(波板囲いされた場所に、屋外型ガス機器を設置しないようチェックにする)		
	浴室下部の配管は十分なメンテナンスができないのでバスコンを設置する		
C-⑱ (立面図)		本支管の管種・口径が明示されているか	
		供給管布設工事がある場合、取出し方法・材料の図示および管種・口径が明示されているか(取出済の場合も管種・口径の明示)	
		官民(道路)境界線が図示されているか	
		配管材料、ガス栓・ホース・分岐継手類は適正か	
		不等沈下対策がエルボ等を用いてされていることが図示されているか(ガス技術テキスト供内管編P7-55~参照)	
		エキスパンション部を通過する場合、適正な配管がされているか(ガス技術テキスト供内管編P7-63~参照)	
		配管材料の管種・口径が明示されているか(必要な場合は、配管場所等の明示も行う)	
		絶縁継手が図示されているか	
	ガス栓・ホース類・その他の本市コードが明示されているか		
	配管の勾配は適正か(逆勾配になる場合の処置はされているか)		

6) 圧力損失計算・メーター号数計算書

有 ・ 無

①	圧力損失のポイント図示、管種・口径・延長及び消費機器・消費量(m <sup>3</sup> /h)の明示	
②	圧力損失計算書の記入	

(設計流量、圧力損失計算は小数点第3位以下切捨て)  
 〈メーター号数計算(2.5~16号)〉

③	(1)設計対象機器の消費量の計に同時使用率を掛け合わせて設計時ガス量を算出し、設置メーター号数を仮定する(小数点第3位以下切捨て)	
	(2)最大消費機器と(1)で求めた設計時ガス量を対比し、大きい方のガス量に補正係数を掛けて、設置メーター号数を仮定する。 ・補正係数 { ガスタービン、発電ユニット(燃料電池・エンジン)→1.023 GHP→1.33 その他の機器→1.009 }	
	(3)消費機器の上位2台の消費量の計に安全率1.24と補正係数を掛けて遮断値(下記表)と対比し決定する。(小数点第2位以下切捨て) 25号以上の大型メーターまたは多数のメーター出庫が必要な場合は別途協議が必要	

型式 \ 号数	2.5	A4	B4	6	10	16
KD	3.6	5.6	5.6	8.4	—	—
KS	—	—	7.3	10.9	18.2	28.8
MS	—	—	—	—	18.0	—

※10号メータ以上の場合にはメーターまわりの配管方法に注意が必要

7) 別途計算書

有 ・ 無

①	材料費の計上	
②	労務費の計上	
③	運搬費の計上	
④	合計金額の計上 (諸経費は計上しない)	

8) 利害関係承諾書 訂正がある場合は、訂正印を捺印するか、或いは捨て印を捺印すること  
 (修正液等での訂正は、不可)

【土地使用承諾書】

有 ・ 無

①	日付の記入	
②	使用者の捺印 (会社の場合は代表者印を捺印のこと)	
③	日付の記入	
④	土地所在は地番で記入のこと	
⑤	土地の所有者は正確か (不明確な場合は、土地の所有者を法務局等で確認すること)	
⑥	所有者の捺印 (会社の場合は代表者印を捺印のこと)	

【分岐承諾書】

有 ・ 無

①	日付の記入 (申込者の記入日)	
②	使用者の捺印 (会社の場合は代表者印を捺印のこと)	
③	日付の記入 (管所有者の記入日)	
④	既設管所在、分岐布設所在は地番で記入のこと	
⑤	既設管の所有者は正確か?	
⑥	所有者の捺印 (会社の場合は代表者印を捺印のこと)	

## 9) 道路占用申請書類

有 ・ 無

## 【工事箇所掘削図】

①	工事場所を記入	
②	申請者氏名を記入	
③	施工する内容に○を記入	
④	業者名を記入	
⑤	路線名を記入	
⑥	断面図に布設する深度を記入	
	国道、県道等の場合は掘削断面（埋戻し及び路面復旧工法）を記入	
	舗装本復旧の平面図（道路復旧要領に基づく影響範囲も明記）を記入	
⑦	占用物件の種類（管種・口径等）及び数量を記入（改造等で引込管を布設替える場合、 或いは撤去がある場合には撤去と明記し、種類及び数量を記入）	
⑧	掘削する面積を記入	
⑨	舗装本復旧する面積を記入	

## 10) 補足説明欄(工事店用)

①	特別な事情等がある場合等に、記入する	
---	--------------------	--

## 11) 添付書類等

- ◎ 添付位置図は、住宅地図程度の見易いものにわかり易くマーキングし、A5横サイズに折り、使用料請求先のゴム印(赤インク)を押印する。
- ◎ 埋設情報図(引込管台帳)、施工票等現施設の工事に必要な情報を添付してください。

# ガス内管及びガス栓工事申込書

受付		①工事種別		②ガスグループ		図面番号		施設番号	
年	度	新設	改造	撤去	取出	13A		⑪検査予定日 令和 年 月 日	
番	号					LPG (外畑団地)		既LP販売店	
戸数	④	受付印		③		TEL( ) -		普通	有
(宛先) 大津市公営企業管理者		令和 年 月 日		発注日		年 月 日		概算通知日	
大津市ガス供給条例及び大津市ガス供給規程に基づき、下記のガス内管及びガス栓工事を申し込みます。		別途申請No.		-		別途申請No.		-	
工事場所		住所コード		大津市 ⑥		備考		⑭	
建物名称等		住所コード		都道府県		区市郡		区村町	
申込者	住所	住所コード		都道府県		区市郡		区村町	
	氏名	(フリガナ)		⑦		⑦		⑦	
	TEL	( )		⑧		-		⑧	
所有者	住所	住所コード		都道府県		区市郡		区村町	
	氏名	(フリガナ)		⑦		⑦		⑦	
	TEL	( )		⑧		-		⑧	
委任状									
上記工事場所のガス内管及びガス栓工事に係る工事費の予納、精算に伴う追徴金の納付及び還付金の受領について、本工事請負業者(指定ガス工事店)に委任します。									
委任者 (氏名)		⑨		工事種別		※記入しないでください		A新設(接有) □ B新設(接無)	
和⑩害関係承諾書		土地・分岐		N改造(接有) □ E改造(接無)		F一般撤去 □ G一部撤去		I取出 □ M取出撤去	
ガス同時工事	受付番号	工事種別		施設番号		入金日		マイコンメーター設	
		新設	改造	撤去	取出			定 □	
		新設	改造	撤去	取出			絶縁ユニオン支	
		新設	改造	撤去	取出			給 □	
建物区分	作業責任者	内管	外管	単価区分	⑬		指定番号		

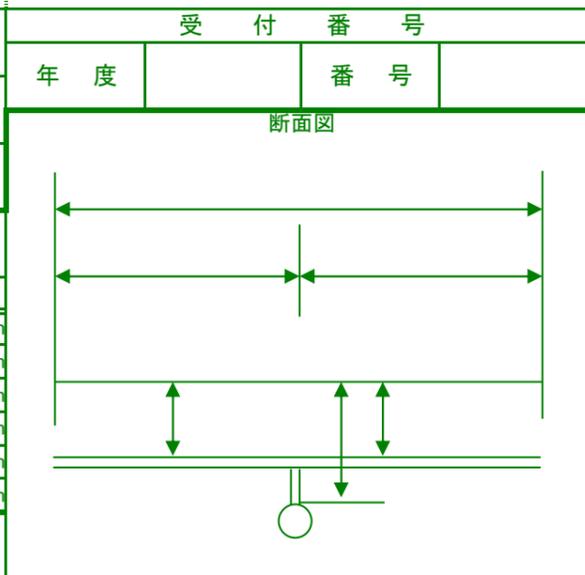
お客様の個人情報、ガス内管及びガス栓工事施工・検査等、ガス施設と関連する大津市企業局の運営に必要な限度で使用し、適正に管理します。

# B 1 調査票

道路占用申請	③国道		県道	市道	法定外道路	私道	同時工事	水道工事	施工業者名		
	路線名		④		号線			下水道工事	有・無 堀削 ②有・無		
他の埋設物の有無	⑤ガス中圧管		有・無		⑥N T T		有・無		施工業者名		
	⑦関西電力		有・無		⑧下水道管		有・無		有・無 堀削 有・無		
	⑧下水道管		有・無		その他(⑨)		有・無		占用先 (土地所有者氏名)		
	その他(⑨)		有・無		許可番号 (土地所有者住所)				占用期間		
供給管掘削	取出	管種	口径	本数	延長	本支管・口径	工事期間		~		
	⑭布設撤去取出済	⑮					仮復旧		本復旧①		
	⑮						⑩ m		⑪ m		
供給管状況	布設撤去取出済						本復旧②		⑫ m		
	布設撤去取出済						区分		記号		
	布設撤去取出済						取付		⑬		
	布設撤去取出済						取付		形式		
⑯単価区分		一般		特別		工程		号数		数量	
1		2		3		4		5		6	
使用材料明細表											
配管工事費					付帯工事費						
記号	数量	記号	数量	記号	数量	記号	数量	記号	数量		
⑰				⑰							
別途計算金額					⑱ 円		延長		m		



C 工事場所	大津市 ①		竣工検査日	令和 年 月 日		
	氏名	②	工事種別	③		
施設番号	④		水栓番号	⑤		
建物名等	⑥		⑦ 新築 ・ 既築	図面番号	⑧	
使用ガス機器	コード	設置機器	ガス消費量	メーカー	型番	製造年月
	⑨		kW・m <sup>3</sup> /h			
			kW・m <sup>3</sup> /h			
			kW・m <sup>3</sup> /h			
			kW・m <sup>3</sup> /h			
			kW・m <sup>3</sup> /h			



課長	課長補佐	係長	精査	検査(審査)
----	------	----	----	--------

指定ガス工事店名	1種 2種	指定番号	⑫
----------	----------	------	---

(所在地) ⑬

(名称)

TEL( ) -

設計	内管工事士 (第一種+活管)	⑭⑮
	内管溶接管理士若しくは 低圧溶接資格保有者	
	外管責任技術者	

作業責任者	内管工事士	( 第1種 ・ 第2種 ・ 第3種 ・ 内溶 ) ⑭⑮
	外管責任技術者若しくは 外管工事士	( 外責 ・ 外士 )

⑩ 設計図 ・ 竣工図	建物区分	⑪
-------------	------	---

(平面図)

(立面図)

⑯

⑰

⑱

(全 枚の内 枚目)